

「ベタイン型添加剤を用いた堆肥化促進およびバイオ資源循環モデルの構築」

甲元 一也 フロンティアサイエンス学部 教授(生物有機化学) 2025~2028年度

1. 目的

食品廃棄物に含まれる**有用な成分**を取り出し、残渣も微生物の力で**短時間で堆肥に変える**「**ベタイン型添加剤**」を使い、ゴミを利用して新たな農作物栽培につなげる基盤技術を作る。

2. 研究内容



3. 期待される成果

農家の収入を増やすことで働き手を増やし、焼却で発生していた**CO₂排出を大幅に抑制**。さらに、得られた堆肥を使って**食料不足の解決**にもつながる。

この技術は世界中のあらゆる地域で活用でき、SDGsの**飢餓・低栄養の課題解決**に貢献する。